

元気・挑戦・思いやり

令和7年10月27日(月)

学びは甘くて深い？チョコレートとSDGs

総合的な学習の時間では、「SDGs(持続可能な開発目標)」について学んでいます。10月22日(水)の5・6時限目に、株式会社明治から講師の加藤先生をお招きし、チョコレートの製造過程やチョコレートの原料であるカカオ豆の生産国(ブラジルやガーナ)が抱える課題についてお話を伺いました。

加藤先生からは、カカオ農園での児童労働や環境問題など、チョコレートの背景にある世界の現実を教えてくださいました。また、明治が企業としてどのように生産国や生産者を支援し、持続可能な社会づくりに取り組んでいるかについても知ることができました。また、ミルクチョコレートを持って来てくださり、試食することもできました。

講話の中では、グループごとに「課題の解決に向けてできること」をテーマに話し合いました。生徒からは、「チョコレートを作るために、たくさんの工夫や思いが込められていることが分かった」、「チョコレートが好きだから、もっと知りたいと思い、興味が湧いた」、「これからチョコレートを食べるときは、カカオ豆を作る農家さんやチョコレートの製造に携わる人に感謝をしながら食べたい」、「自分たちが買うときに意識するだけでも変えられることがあると思った」などの感想が聞かれ、身近なことから世界の課題へと視野を広げる貴重な時間となりました。

今後の学習では、今回の学びや調べ学習をもとに、SDGsの目標達成に向けて「今の自分たちにできること」を考え、提案・プレゼンテーションを行う予定です。その際には、今回の講師の加藤先生にもオンラインで参加していただき、発表を聞いてご指導・講評をいただく予定です。

